

# 工陵

小山高専だより



高専ロボコン2021全国大会  
「2年連続優勝」&「ロボコン大賞」のW受賞



ロボコン全国大会 競技風景



一般管理棟 外壁改修



前期球技大会

Vol.14

2022.6

## 目次

### 学校長挨拶

学びて思わざればすなわちくらし…………… 2

### 主事・専攻科長挨拶

『行動の種を蒔いて、習慣を刈り取る。』…………… 3

小さいガッツポーズをたくさん作ろう…………… 3

寮生活で大切なマナーとモラル…………… 3

セルフ・マネージメントの必要性…………… 3

学級担任等の紹介…………… 4

新入生に贈る言葉…………… 5

新任教職員挨拶…………… 6

学生相談室からのお知らせ…………… 7

学生会ニュース…………… 8

学寮ニュース…………… 8

新型コロナウイルス対策にご協力ください…………… 8

独立行政法人国立高等専門学校機構



小山工業高等専門学校

National Institute of Technology (KOSEN), Oyama College

<https://www.oyama-ct.ac.jp/> 旧小山高専だより通刊No.193  
※従来の小山高専Quarterlyから工陵・小山高専だよりへ変更しました。



## 学びて思わざればすなわちくらし

校長 堀 憲之

「学びて思わざれば則ち罔し（くらし）。思いて学ばざれば則ち殆し（あやうし）。」

（学ぶだけで考えなければ本当の理解には到達しない。考えるだけで学ばなければ独断に陥る危険がある。）

孔子のこの教えはこれまで多くの識者が解釈して来たところと思いますが、ここでは「超訳論語「人生巧者」はみな孔子に学ぶ」（田口佳史著）の説明をご紹介します。私にも理解できる平易な言葉で述べられているからです。そこにはこうあります。

知識や情報を得ることに満足してはいけない。どう応用できるかを自分の頭で考え、創意工夫をこらしてゆくことが大切である。（中略）知識や経験を積み重ね、それを社会に役立つ能力に転換させていく。その過程で「考える」作業が必要だとしている。どれだけ多くを学んでもその知識や経験知を活かせなければ何にもならない。ただ「こんな経験をした」「こんなに知識がある」と人に自慢するだけに終わる。またいくら思考を重ねても豊富な知識・経験の裏づけがなければ単なる机上の空論。浅知恵で策を弄したところで、実効性は望めない。（中略）学びと思考を両輪にして回し、人生や仕事に役立てるよう努める。

近代の工学教育は産業革命後の社会の要請を受け、すぐに使える「こと」や「もの」を重視して発展したとの見方があります。技術開発の中で繰り返し広げられた努力や工夫の歴史、特に失敗から学ぶことや困難を克服する粘り強さは効率化の名のもとに舞台裏に消え、後世にあまり伝わっていないようです。「学びて思わざる」と「思いて学ばざる」のバランスをどう取るかが大切です。先ごろ経産省未来人材会議が2030年、2050年を見据えた人材育成の方向性を「知識習得」と「探求力の鍛錬」の二面に分けて提示しました。「画一的な知識だけを詰め込んでおけば対処できる時代ではなくなり、社会が何を目指している、何を実現すればよいのかという到達地点を考える時代が到来した」としています。また、「早くから本物の社会課題に思考を巡らせる機会の増大も必要」とあります。更に、進路決定は諸外国では高校時代なのに対して、日本では大学生の後期と遅いことも指摘しています。さて、あらためてこの会議の提言を眺めてみると、高専における教育はまさにこの方向性を先取りしていると私には思えるのですが、皆さんはどうでしょうか。

## 『行動の種を蒔いて、習慣を刈り取る。』



校長補佐(教務主事)  
森下 佳代子

新年度に当たり、新たな目標を定めた人がたくさんいる一方で、目標を定めても長続きしないのが悩みだという人も少なくないと思います。でも、思いが強ければ、いつかきっと叶います。『自助論』を執筆した英国のサミュエル・スマイルズは次のような詩を詠んでいます。

思いの種を蒔いて行動を刈り取り、行動の種を蒔いて習慣を刈り取る。

習慣の種を蒔いて人格を刈り取り、人格の種を蒔いて人生を刈り取る。

行動を習慣化するコツは、「小さなステップ」と「連動」です。朝、起きたらカーテンを開けるのと同じように、例えば「朝、歯磨きをしながら英単語を3個覚える」というように、目標を達成するための小さな小さなステップを決めて、早速始めてみましょう。この1歩を踏み出すことこそが行動の種を蒔くことであり、習慣を手に入れる近道なのです。そしてもう一つ。3日続けられたら自分で自分を大いに褒める。習慣の種を蒔いて人格を刈り取りましょう。

## 小さいガッツポーズをたくさん作ろう



校長補佐(学生主事)  
武 成 祥

高専の5年間はみなさんの人生の中で短いようで長いです。立派な技術者また科学者になりたいという夢を持って高専に入学したと思います。けれど、ときにはその夢が大きすぎてそれに向けて頑張る気持ちは湧いてこなくなる時があるかと思えます。どうすれば自分の将来の夢を実現する

ことができるのでしょうか?私がおすすめるのは「小さいガッツポーズをたくさん作ること」です。今日の部活で頑張ったのでガッツポーズ、友達の相談相手になったのでガッツポーズ、今日やるべき宿題を全部やったのでガッツポーズ、通学中マナーを守ったのでガッツポーズ、朝のSHRに1ヶ月間遅刻なしでガッツポーズ。このように小さいガッツポーズをすることによって大きい夢の実現に確実に歩いていくことは非常に効果的だと思います。今年の新入生ガイダンスのときに「Rome wasn't built in a day, but they were laying bricks every hour」という言葉を新入生に送りました。続けて小さい努力をすることは夢の実現に一番の近道です。卒業のときにみなさんの大きいガッツポーズ姿を楽しみにしております。

## 寮生活で大切なマナーとモラル



校長補佐(寮務主事)  
鹿野 文久

寮という集団生活の中では規則を守っていても、教員や先輩から注意を受けることがあります。なぜでしょう?それは集団生活に必要な「規律正しい生活」が身につけていないからかもしれません。「規律」は規則(ルール)とは異なりマナーとモラルを合わせた言葉です。「マナー」は食事マナーというように、社会・集団全体として気持ちよく過ごせるような行動の取り方です。一方「モラル」は人として行うべき正しい判断や価値観という意味に使われます。集団生活の中では、自分の取るべき行動を状況に応じて瞬時に判断し、正しい行動が求められます。判断を間違えると周りから注意を受けることとなります。面倒かもしれませんが、このような場面を繰り返していくうちに自然に正しい行動ができるようになります。そう、「規律正しい生活」が身につくのです。日々の共同生活から、互いに気持ちよい生活が送れるよう、正しい「マナー」と「モラル」を身に付けてもらいたいと思います。

## セルフ・マネジメントの必要性



校長補佐(専攻科長)  
鈴木 真ノ介

高校と高専の違いは何か?端的に言えばその解の一つは、高校は中等教育機関、高専は高等教育機関であることです。高専生が大学生同様、学生と呼ばれる所以はここにあります。ただし、教育区分は違っても過去の高専のほとんどの講義は、実験・実習を除き小中高と同様にHRに教員が来て授業をする学習スタイルでした。しかし、昨今の高専では本科でも多様なカリキュラムの導入により、学科横断型授業やオンライン授業において、講義でも教室移動やLMSへのアクセス等などの学生側の大なり小なりのアクションをより要する、これまでよりも能動的なスタイルになりつつあります。

一方、専攻科では、設立当初より特別研究に重きを置き、少人数教育の実践と実務研修のような実学を取り入れた科目など、一律な教育ではなく個々の学生が学習をカスタマイズして勉学に励んでいます。ここで、本科・専攻科に関わらず、上記を効果的に実践するためにはセルフ・マネジメント(自己管理能力)が必要です。待っているのではなく、自ら動くことが非常に重要です。高専卒業後、社会で活躍するためにもこの能力を、是非とも高専時代に培ってください。

# 学級担任等の紹介

## 専攻科



機械工学コース主任  
日下田 淳  
機械工学科

機械工学科



電気電子創造工学コース主任  
井上 一道  
電気電子創造工学科

電気電子創造工学科 (L) 電気電子創造工学科 (R)



物質工学コース主任  
笹沼 いづみ  
物質工学科

物質工学科



建築学コース主任  
加藤 浩司  
建築学科

建築学科

## 5年



那須 裕規  
機械工学科



大島 心平  
電気電子創造工学科



干川 尚人  
電気電子創造工学科



川越 大輔  
物質工学科



本多 良政  
建築学科

## 4年



川村 壮司  
機械工学科



サム アンラホック  
電気電子創造工学科



山田 靖幸  
電気電子創造工学科



加島 敬太  
物質工学科



大島 隆一  
建築学科

## 3年



山下 進  
機械工学科



李 曉楊  
電気電子創造工学科



田中 昭雄  
電気電子創造工学科



飯島 道弘  
物質工学科



大和 征良  
建築学科

## 2年



小原 侑己  
一般科



長峰 孝典  
一般科



加藤 清考  
一般科



杉山 桂子  
一般科



吉村 理英  
一般科

## 1年



有坂 顕二  
一般科



神代 真也  
一般科



関根 健雄  
一般科



中川 英則  
一般科



有坂 夏菜子  
一般科

新入生に贈る言葉



機械工学科1年担任  
有坂 顕二

新入学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ところで皆さんはこれまでに、「個性的」とあるというのはどういう状態を指すのか考えたことがありますか。もし「他の人と異なる」ということを指すとすれば、人は皆、生きているだけで個性的であり、一番個性的な状態は、他との共通点など全く気にもとめない赤ちゃんの頃にあると言えるでしょう。ただ人は成長するにつれ、一緒にいてくれる誰かを求めずにはいられなくなる存在です。どんなに「自分を貫く」とは言っても、誰かに評価してもらいたいと思う存在です。そして人と仲良くなったり、もっと自分のことを人に理解してもらいたい、人を理解したいと思うのなら、どうしてもその人と関心や話題の共有が必要となります。「学校」は、同じような価値観を持つ人達で構成される社会がほぼ共通して持っている知識や技術、それらを学んだり実践したりする機会、を提供してきた場所です。ですから学校で学ぶことにより、より多くの人や社会と結びつく可能性が増え、結果、よりよい機会に巡り会える可能性も高まるのではないのでしょうか。当然、逆の場合もあるでしょうが、私は学校の教員ですのでそんな風に考えていますし、考えたいと思っています。皆さんがここ小山高専で、可能な限りの知識や技術を習得し、これからの人生において数多くの素晴らしい機会に恵まれ、そしてそれをできるだけ生かしてほしい、と切に願っています。



電気電子創造工学科(L)  
1年担任  
神代 真也

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。義務教育である中学校生活を終えて、自分の力で進路を決めるということはとても大変なことだったのではないのでしょうか。しかし、それこそが義務ではない、自由ということだと思います。これからどんどん自分自身で決めるべきことが増えていきます。なるべく早いうちに「将来こんな人間になりたい」という目標を明確にしておくともよいと思います。

とはいえ、自分の将来をイメージするという事はなかなか難しいことだとも思います。そんな時は、皆さんの周りにいる先生や先輩をよく観察して、自分もこうなりたいなという人を見つけることもよいと思います。特に、高専の教員は教育だけでなく、研究も行っています。ぜひ先生がしている研究の話聞いてみてください。これは、普通科高校にはない、高専ならではの特権の一つだと思っています。私も皆さんの高専での5年間が充実した時間になるよう精一杯サポートしていきます。どうぞよろしく願いいたします。



電気電子創造工学科(R)  
1年担任  
関根 健雄

ご入学おめでとうございます。

世界では変化の兆しもありますが、「新型コロナウイルス」の流行による自粛的で慎重な生活が未だに続いています。そんな中だからこそ、新入生の皆さんには、迷わず「新しいこと」に挑戦してほしいと思います。これまで躊躇っていたこと、思いがけず出会えたことに対して「一歩」踏み出してください。「コロナ禍」で社会構造や生活様式は大きく変わりました。皆さんの目指す「技術(者)」がそこには関わっているはず。固定概念に囚われず、食わず嫌いせず、まずは高専での5年間を貪欲に突き進んで、今いる大人たちの想像を超える境地に達してほしいと思います。

Stay Hungry, Stay Foolish!  
(Steve Jobs のスタンフォード大学のスピーチより、伝説となった有名なメッセージ)



物質工学科1年担任  
中川 英則

ご入学おめでとうございます!! 高専生活が始まって、早一カ月が過ぎました。そろそろ、部活動なども決まってきて、学校生活に慣れ始めてきたところでしょうか。朝のSHRで何を話そうかと悩んでいる日々ですが、そのような折に、岡潔著の「春宵十話」という本を手に取りました。その本で岡先生は、「頭で学問をするものだという一般の観念に対して、私は本当は情緒が中心になっているといたい。」と書かれています。岡先生は、数学の「多変数複素函数論」という分野をほぼ一人で開拓された日本が誇る天才数学者の一人ですが、そのような方が、「学問は頭でするものでなく、情緒がより重要なのだよ。」と書かれているのを読んでひどく感銘を受けました。本校の教育理念が「技術者である前に人間であれ」ですが、高専5年間の中で、理系科目だけに固執することなく、広くリベラルアーツ教育に触れて頂きたいと思います。充実した5年間となることを切に願っています。



建築学科1年担任  
有坂 夏菜子

小山高専という新しい環境の中で学校生活が始まって、1ヶ月半ほどが経ちましたね。最近の皆さんは少しずつ緊張感も解れ、友達も増えてきたようで、笑顔が多く見られるようになってきました。学業に関しては、中間試験はこれからですが、苦手科目にも一生懸命に取り組んでいる姿が見られ、克服していきこうという意気込みが感じられます。

5年間の高専生活では、大変なことがあるかもしれませんが、それらを乗り越えながら多くのことを学んでほしいと思っています。勉強だけでなく、部活やその他の行事等にも積極的に参加して様々な経験を積んでほしいと思います。1年生の皆さんを見てみると、今はまだはっきりとした形にはなっていないけれども、これから色々なものを吸収していくなかで、一人ひとり、徐々に何かが形成されていく可能性を大いに感じます。5年生になる頃には、素敵な大人になっていることでしょう。将来、皆さんが立派になった姿を見るのをとても楽しみにしています。



# 新任教職員挨拶



電気電子創造工学科  
長尾 和樹

4月に電気電子創造工学科に着任しました長尾です。2014年に香川高専（詫間キャンパス）を卒業後、長岡技術科学大学へ編入学、大学院へ進学し学位取得と、高専-技科大教育にどっぷり浸かっていました。高専生時代の5年間は自身を成長させていただき、これから高専に教員として携われること深く感謝しています。まだまだ未熟ですが、学生の皆様と共に成長していきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

学生の皆さん、高専にはロボコンやプロコンをはじめとした様々なものづくりの機会があります。ものづくりを通じた活動に思いっきり取り組み、一度きりの人生、5年間の高専生活を究極のものにしてみませんか？そのために精一杯サポートしていきます。ここでの主役は学生みなさんです！



建築学科  
文野 光

4月に建築学科（材料系）に着任しました文野光です。2022年3月に東京理科大学で博士号（工学）を取得し、昨年は特別研究員をしておりました。学部から博士課程まで東京理科大学で勉学に勤しんできましたが、小山高専という新たな地で教育や研究を通して皆さんと共に成長できるように頑張りたいと思っています。趣味はバイク、ギター、ボルダリング等です。

研究については低環境負荷型コンクリート、新規建築材料の開発、コンクリートの耐久性に関する研究に取り組んできました。建築材料を通して建築の面白さを共有できればと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



建築学科  
加藤 浩司

加藤浩司（かとうこうじ）です。この4月、建築学科の教員になりました。昨年度まで「有明高専」で19年間、働いていました。授業などで聞いていますが、本校の学生の皆さんにとっては「有明??？」有明高専は、福岡県の南部、熊本県との県境にある高専です。本校と同じ「高専」ですが、細かく見ると「違い」がたくさん。高専教員20年目ですが、戸惑うことばかりで「おいおい、大丈夫？」と自分に聞いてしまう毎日です。でも、そんな「違い」を感じられることが、もしかしたら自分のストロングポイントなのかな、なんてことを感じています。小山高専での時間、北関東での生活、楽しみたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。



課外活動指導員  
吉田 哲

皆さんこんにちは。長年通信関係の仕事に携わってきましたが、昨年末から縁あって学生課で課外活動指導員を担当しています。主な仕事は学生の皆さんが行っている課外活動時の巡回やグラウンド等の環境整備です。また、1、2年教室PCのOS更新等も行っています。会社任中には学生の採用面接をしていた時期もあり、当時は本人の人柄や組織への適応力、課題抽出力やその克服方法を様々な質疑応答から判断してきました。中でも注視してきたのは部活動やイベント活動等での本人の立場、役割や課題対応経験を知ることでした。学業はもちろん重要ですが、部活動等は組織として動いていますので、その中での自分を知ること重要だと思って頂ければ幸いです。

# 学生相談室からのお知らせ

学生の皆さんは、楽しいことも沢山あるけど悩む時もあるかと思いますが、そんな時、少しでもお手伝いできればと思っています。誰かに聴いてもらうと解決の糸口が見つかることもあります。どうぞ学生相談室を利用してください。

学生相談室長 加藤 清考



## カウンセラー紹介

### 田口カウンセラー

みなさん、こんにちは。

私たちが生活していくなかで出会う「出来事・刺激・変化」などのことを「ストレス」といいます。例えば、「暑いな」というのもその一つです。学生の皆さんでしたら、試験や人間関係が一般的でしょうか。もちろん、それ以外にも人それぞれに固有のストレスが存在します。しかし、ストレスそのものが決して悪者というわけでもありません。適度な刺激や変化は私たちの生活を彩り、成長を促してくれれます。しかし、過剰であるとか長期的であるとき、急展開すぎるとか、達成感があまりにも乏しいときなどには、様々な「ストレス反応」に悩まされてしまうこともあります。ストレス反応は、身体・思考（考え方）・気分（感情）、行動の不調として現れます。なにか「いつもと違うな?」とか、「辛いな」というときには、とにかく早く解決したくなるものですが、そんな時こそ、何がストレスとなっているか、どんなストレス反応が生じているかを理解することが、解決や成長への一歩となります。それには、「誰かに相談してみる」というのも効果的です。そのような時はぜひ、「相談室」を利用してみてください。

### 坂寄カウンセラー

こんにちは。カウンセラーの坂寄和弘です。今年度から金曜日にこちらの相談室に来校することになりました。普段は働く人のメンタルヘルス相談や、学校のスクールカウンセラーなどをしています。ちょっとした気になること、困りごとや悩み事、どんなことでもよいので、何かありましたら気軽に相談してください。自分自身も学生時代には不安や悩みを抱えていたので、きっと皆さんのお役に立てると思います。

### 岡安カウンセラー

こんにちは、カウンセラーの岡安です。担当は月曜日の16時からです。普段は社会人の心身の健康管理をしています。以前は看護師としても仕事をしており、皆さんの心身の相談に乗れると思いますので、気軽に話に来てください。

### 菅野ソーシャルワーカー

こんにちは。昨年度よりソーシャルワーカーとして勤務しております、菅野と申します。皆さんの学生生活がより楽しく充実したものとなりますよう、微力ながらお役に立ちたいと思っています。学校生活のことや、家族のこと、経済的なことなど、生徒の皆さんだけでなく、保護者の方々も、どうぞ気軽に相談にいらしてください。よろしくお願いいたします。

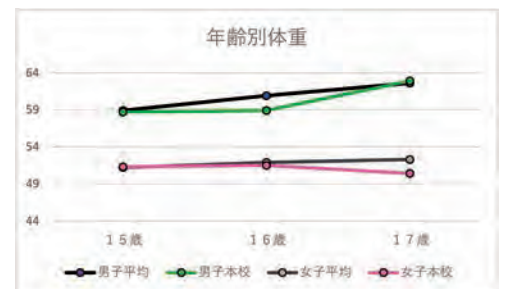
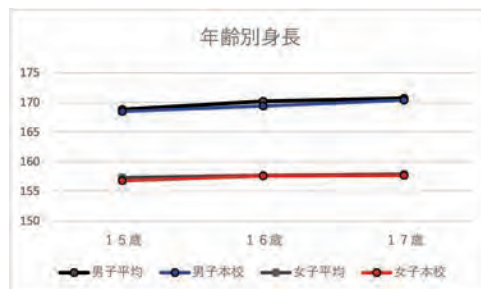
## ソーシャルワーカー紹介

## 令和4年度 学生相談室員

室長	加藤 清考 (一般科)
副室長	須甲 克也 (一般科)
室員	那須 裕規 (機械工学科)
室員	小林 康浩 (電気電子創造工学科)
室員	床井 良徳 (電気電子創造工学科)
室員	川越 大輔 (物質工学科)
室員	大島 隆一 (建築学科)
室員	山崎 明 (一般科)
室員	廣田 智子 (保健室)

## 保健室より

4月に実施しました健康診断の結果が出ております。身長・体重の全国平均と大差はないが、2年生男子、3年生女子は体重がやや少なめに出ています(下図参照)。また、再検査が必要な学生には、医療機関受診の案内文が入っておりますので、早めの受診をよろしくお願いいたします。



身長	15歳	16歳	17歳
男子平均	168.8	170.2	170.7
男子本校	168.5	169.4	170.4
女子平均	157.3	157.7	157.9
女子本校	156.8	157.6	157.7

体重	15歳	16歳	17歳
男子平均	58.9	60.9	62.6
男子本校	58.7	58.9	62.9
女子平均	51.2	51.9	52.3
女子本校	51.3	51.5	50.4

## 学生会 ニュース

建築学科3年 渡辺 利喜

皆さんこんにちは。そして初めまして。

令和4年度学生会長を務めさせていただきます、建築学科3年の渡辺

利喜です。

一昨年から世界的に影響を及ぼした新型コロナウイルスによって、皆さんの学校生活、数々の学校行事等が奪われました。ですが、その分オンライン上でのやり取り、オンラインでの会議・作業がとて増えたと感じ、これらをさらに発展させることは私たち、技術者がとても重要な役割を果たすのではないのでしょうか。勉強の中、日々の中で学んだことを将来どのように使うか考え過ぎていくことがとても肝心だと思います。

そして、最近では「with コロナ」といって、世間的にもだんだん緩和されてきています。そこで！今年度こそ、学校行事が復活するしないに関係なく、コロナ禍以前よりも面白い高専ライフを皆さんに提供できるよう私たち学生会も、誠心誠意活動していきたいと思っています。1年間の期間ですが、よろしくお祈りします。

## 学寮 ニュース

令和4年度前期寮長  
電気電子創造工学科4年 本多 幹也

いまだ猛威を振るっているコロナウイルスが蔓延している中ですが、今年も無事に新入寮生を迎えることができました。しかし、開寮してすぐ

に寮内で感染者が出てしまい、寮生は不安と恐怖に見舞われました。私自身も寮生が安全で楽しく生活できるように感染症対策に全力を尽くしてきました。それでも感染者が出てしまったときには少なからず責任を感じました。それでも、寮生一人ひとりが感染症対策の重要性を再確認し、今は通常通り寮生活を送ることができています。感染症対策は一人の努力だけでどうにかなるものではないと改めて実感しました。寮の関係者をはじめとする先生方や寮務スタッフさんの努力があってこそ今このようにして寮を運営できています。寮長としてはまだまだ未熟ですが、寮生全員が安全で楽しく生活できるようにこれからも尽力していきたいと思っています。どうぞよろしくお祈りいたします。



▲ 令和4年度1年新入寮生（4月23日歓迎会）

## 新型コロナウイルス対策にご協力ください

本校では、1HR教室に1クラス人数（約40名）が入る場合は、以下の3条件が同時に重なることを避けるよう配慮して授業を行います。

### ①密閉空間

- ・窓、ドアは2方向開けて、常に換気されている状態を原則とする
- ・換気扇は原則として常に使用する
- ・窓のない部屋は使用しない

### ②密集場所

- ・身体接触をしない距離を保つことを原則とする
- ・1クラス単位の活動を基本とする
- ・複数クラスの場合は、1HR教室約40人程度の密度を超えないようにする

### ③密接場面

- ・対面に位置しない
- ・マスクを用いて、口鼻を覆い飛沫が飛散しないようにする
- ・必要最小限の会話にとどめる



独立行政法人 国立高等専門学校機構

## 小山工業高等専門学校

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771 TEL.0285-20-2100  
編集：小山高専広報戦略室 発行：2022. 6